

## 国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案

## 【実践者】

授業者氏名	水谷 由美	学校名	帯広市立八千代中学校 広野小学校
教科（科目）・領域	外国語科	対象学年（人数）	6年 1組（9名）
実践年月日もしくは期間（時数）	3年 11月 16日（2時間）		

## 【実施概要】

1. 単元名（活動名）：	Unit6 Let's think about our food				
2. 実践する教科・領域：外国語科	3. 学習領域				
		1	2	3	4
	A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
	B グローバル社会	相互依存	情報化		
	C 地球的課題	人権	環境	平和	開発
	D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加	
4. 単元の目標（評価規準を意識して設定）：					
世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物について、短い話を聞いてその概要がわかったり、伝え合ったり、話をしたりすることができる。さらに、食材を生産する立場として、食に対する考えを広げることができる。					
5. 単元の評価規準	①知識及び技能	I want to cook~, I usually eat~, ~is from...について理解し、食を通じた世界のつながりや世界と日本との関係を理解する。			
	②思考力、判断力、表現力等	食材を通じた世界のつながりや食べ物について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考え方や気持ちなどを伝えている。			
	③学びに向かう力	環境に優しいメニューについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考え方や気持ちなどを伝え合おうとしている。			
6. 単元設定の理由・単元の意義（児童/生徒観、教材観、指導観）	単元設定の理由あるいは単元の意義】 教科書 New Horizon Elementary6 では言語活動と「世界を広げる」をテーマにした“Over the Horizon”という、言語活動を下支えする情報がある。Unit5では、①食物連鎖②絶滅危惧種③環境を守るための行動（3R・水を大切に・ボランティア・もったいない精神），Unit6では①日本の食料自給率②外国からくる食べ物③食品ロス④世界の食糧などの事情が掲載されている。単元の目標を達成するために、農業従事者の後継者として、生産者の視点を意識させた学習内容を構築することで、単元末の Enjoy Communicationの「オリジナルメニューを発表する」表現活動が、より深化した内容になると考える。 【児童／生徒観】 十勝地方の小規模へき地・複式校である。全校生徒28人、校区は大半が畑作や酪農を営む農村地帯である。まず家業としての農業・食を支える仕事が、世界とどのような関わりがあるのか関心を持つ児童は少ない。また、総合的な学習の時間において農園活動を通して地域作物の栽培体験は行っているものの、収穫後の流通・消費など経済的な側面からの理解に乏しい。そこで、収穫後の廃棄作物について目を向させたいと考えた。十勝の食糧自給率が1000%を超える反面、廃棄作物が大量に出ることから、生産者				

	<p>としての視点で食品ロス・廃棄について自分事として受け止めるきっかけになればと考えている。</p> <p><b>【教材観】</b></p> <p>この教材は世界と日本との関係を知るために、食を通じた世界のつながりや食べ物（食品ロス・廃棄）について、SDGsのゴールの背景にある諸問題から理解させ、生産者としてSDGsの12番“つくる責任”について児童が関わることにもふれながら、自分の行動様式について考えさせたい。これらの学びを通して、英語を使った表現活動が深化することをねらいとしている。また、中学校入学後の総合的な学習の時間の「郷土学習」において、小学校時の農業学習との橋渡し的な学習内容になるよう考えている。</p> <p><b>【指導観】</b></p> <p>世界と日本との関係を知るために、食を通じた世界のつながりや食べ物（食品ロス・廃棄）について、SDGsのゴールの背景にある諸問題から理解させたい。まずは、自分たちの暮らしと遠いところにある問題に困っている人の本音を知る手段として、途上国の人と同じテーマで考える場面を設定する。児童は自分の考え方と、途上国の人とはどのような違いや共通点があるのだろうかという思いを持ちながら、個人の考え方から、グループへと、対話を通して考える。共感的な場面を設定するアクティビティである。その結果、人として必要な物は同じにも関わらず途上国にはそれらが守られていない環境や実態に気づき、その国の課題として（SDGsの必要性）を捉え直すことから授業を始める。次に教科書教材の食品ロスから、生産者としてSDGsの12番“つくる責任”について児童が関わっていることに焦点をあてた発問と活動を行う。児童は、廃棄作物が“もったいない”とは思いながらも、現実味のないこの問題について考えるため、まずは消費者としての消費行動をランキング形式で考え、生産者の視点で比較し、自分の行動様式について考えさせたい。これらの学びを通して、英語を使った表現活動がより自分たちのオリジナルの内容に深化することを期待している。</p>
--	--

## 7. 単元計画（全 4 時間）

※単元前半の総合学習的内容から後半の外国語による言語活動の深化を期待した単元構成である。

時	ねらい	学習活動	資料など
1 本時	ハシムさんの回答を通じて途上国の課題を知る。 (SDGsを通じて世界への関心を高め、その上で「ミニケーションを図る基礎となる資質・能力」を培うため)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「無人島で必要なもの3つと、あればいいと思うもの3つ」を考え、各人が必要なものを付箋に記入する。</li> <li>個人で考えたことをグループに伝える。</li> <li>全体で考えを共有する。</li> <li>途上国のハシムさんの考え方やその理由を聞く。</li> <li>何人かが感想を述べる。</li> <li>ハシムさんの回答から、途上国の課題を知る。</li> <li>SDGsの概要を理解する。</li> <li>食品ロスが起こっている場所を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>元JICA研修員の考えが編集された動画</li> <li>PPT</li> </ul>
2 本時	SDGsの“つくる責任”を担う生産者としての行動に気づき、廃棄作物について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>食べ物が廃棄される理由を考える。</li> <li>ポテトを買うときの行動をランキングで伝え合う。</li> <li>ポテトを作るときに廃棄する理由を伝え合う。</li> <li>生産者として、売れなかつた作物をどうしているのか伝え合う。</li> <li>ここまででの感想を共有する。</li> <li>廃棄を少なくするための方法を考える。</li> </ul>	・ワークシート①

3	オーストラリア出身のALTから廃棄作物が社会活動としてどんな取り組みが行われているのか知り、自分たちならどんなことができるか考える。 (単元前半の総合学習的内容から、外国語の表現に深まりができるよう指導する)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTが母国の実践例や他国的好事例を紹介する。</li> <li>自分たちができる取組みを考える。</li> <li>教科書の表現活動「環境に優しいメニュー」にするために必要な語句や表現を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTが作成したPPT資料</li> <li>ワークシート②</li> </ul>
4	「環境に優しいメニュー」が伝わるような語句や表現を考えて発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の表現活動「環境に優しいメニュー」にするために必要な語句や表現を決定する。</li> <li>ポスターにして成果物を作成する。</li> <li>作成したメニューで言語活動を行う。</li> <li>振り返りシートに記入する。</li> </ul>	・ポスター用紙

## 8. 本時の展開（概略）

本時のねらい：ハシムさんの回答を通じて途上国の課題を知り、食品ロスの問題から生産者（農業後継者）として廃棄作物を減らすにはどのようなことができるのか考える。

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (1分)	1. 「今日は世界と日本・帯広市広野のつながりを知るために、アフリカのチャドに住むハシムさんとつないで、一緒に“同じテーマ”について学んでいきたいと思います。 「チャドのハシムさん～」 「は～い。私はハシムです。どうぞよろしく・・・」	・ビデオ動画を再生。 JICA 帯広の元研修員、ハシムさんが冒頭にあいさつする場面で止める。	・資料①動画  【同じテーマで途上国の人と一緒に授業を考える貴重な場面設定と、彼の考えにも級友と同じく共感させたいという思いから登場していただく】
展開 (6分5分)	<p>①テーマ: 「あなたが無人島で必要なもの3つと、あればいいと思うもの3つ」を考えよう。</p> <p>2. 「学びの流れを説明します。」</p> <p>3. 「では時間は4分。それぞれを付せんにアイテムだけを記入しましょう。はい、どうぞ。」</p>	<p>・個人→グループ→全体発表</p> <p>・司会者を確認</p>	
1分 4分 5分	<p>②: 「意見交流」 付箋を画用紙に置きながら、3つずつの理由を伝えあおう。</p> <p>4. 「模造紙の表に付箋を貼りながらまず一人ずつ必要なものだけを3つずつ伝えます。全員終</p>	<p>・アイテム確認だけではなく理由の確認</p>	

	わったらあったらいいなの물을3つずつ伝えていきましょう。」	をしっかりとさせる。	
5分	<p>5. 「ではグループで出た意見を2分程度で紹介してください。」</p> <p>【必要なもの】・水・ナイフ・ライター・毛布・・食料・釣り道具など・・・</p> <p>【あったらいいもの】・発電機・携帯・食べられる草などの本・人など・・・</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒は「きれいな水」と、単に「水」と答えるかもしれないのに、のちのまとめで、区別して伝える。</li> </ul>	
4分	<p>6. 「最後にチャドのハシムさんの考えを聞いてみましょう」ハシムさんの回答</p> <p>【ハシムさんの必要なもの】</p> <p>①きれいな水②薬③教育</p> <p>【ハシムさんのあったらいいもの】</p> <p>①コーラン②家族や友人③ターバン</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>資料①動画の再生</li> </ul> 
3分	<p>7. 「チャドのハシムさんの回答を聞いて、感じたことや疑問に思うことは何ですか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えと違う</li> <li>なぜきれいな水っていうのかな</li> <li>宗教が大切なのかな？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「イスラムの方々のコーランは生活上のルールや人として大切なことを学ぶためのものです。モスクで学びます。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イスラムのコーランなどの説明も必要なら加える。</li> </ul>
③:「活動のまとめ」 途上国の課題という視点を加味し、SDGsを理解する。			
6分	<p>8. 「では、ハシムさんの回答をみなさんと一緒にまとめてみましょう。</p> <p>まず、 “あったらいいもの” からわかるることはなんでしょうか。自分たちの答えと比較して考えてみてください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国の違いかな・考え方の違い・生活の違い・文化の違い・・・</li> </ul> <p>9. 「では “必要なもの” からわかるることは何でしょうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なんだか困っている・私たちより水が本当に大切・生きていくのに必要なもの・国の問題・・・</li> </ul> <p>10. 「みんなの考えをまとめると、必要なものは人として同じだけれど、途上国では水やお薬</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオでチャドの現状を踏まえて説明してくれているので、ハシムさんの回答に共感するような説明を心がける。</li> <li>①チャドの子どもたちは水汲みに時間がとられて勉強時間が取れない。</li> <li>②日本人は“きれいな水”が当たり前なのでハシムさんの“きれいな水”という回答から、衛生的な水にたどり着くのは難しい状況や健康</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料①ハシムさんの回答をまとめた PPT 提示</li> </ul> 
1分			

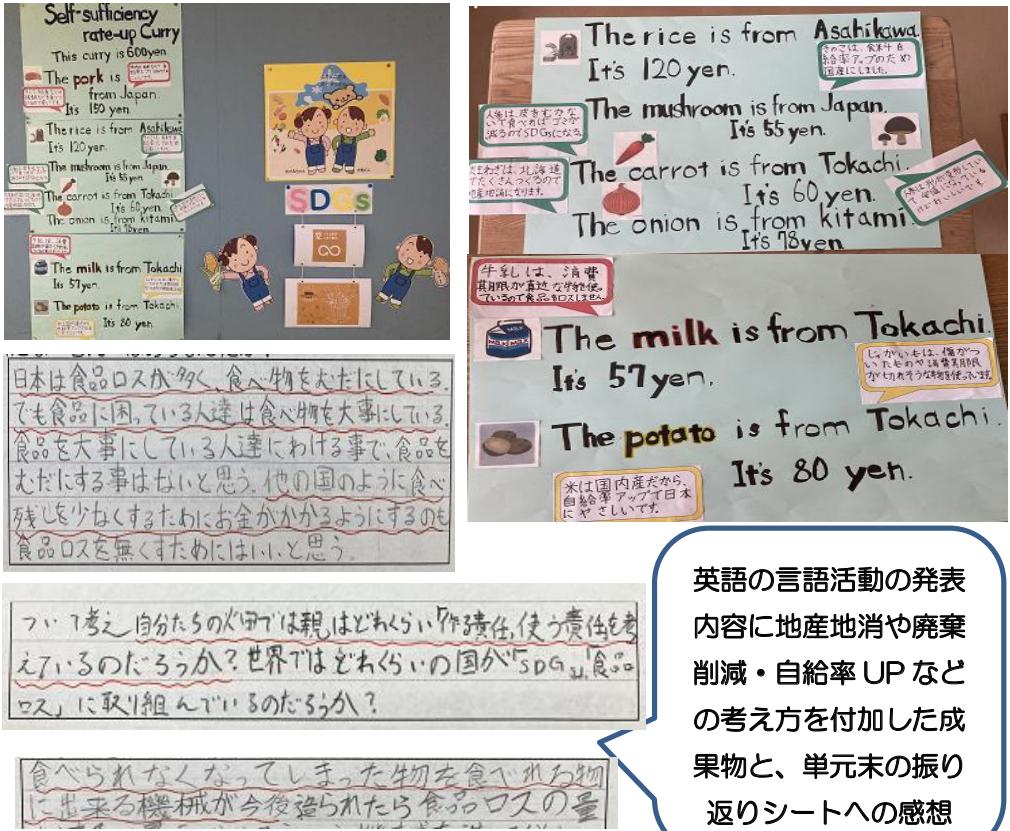
	<p>が不足し、学校に行けない状況にあること、これはチャドの国の課題でもあるということがわかりますね。</p> <p>実はそれらの課題を抱えてる多くの国は途上国にあるということなんです。</p> <p>そこで、全世界の人が目指す目標、SDGs が作られました。」</p>	問題を補足する。	
3分	<p>11. 「2030年までに、貧しい国も、豊かな国も、みんながこの目標を達成しましょうというものです。</p> <p>世界各国は力を合わせて、貧しさと闘い、環境にやさしく、今ある資源を大切にして、私たちの地球をずっとこの先も守っていこうという取り組みです。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsについて短く説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SDGsロゴ提示</li> <li>SDGs下敷き配布</li> </ul>
1分	<p>12. 「チャドのハシムさんのおっしゃっていたこの3つの問題は SDGsの何番の目標になりますか？」（6・3・4番）</p>		
2分	<p>13. 「17個の課題の中から2つクイズを出します」（食品ロス・水問題）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>先の無人島ゲームでのハシムさんの回答も、SDGsの課題の1つであると確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料①食品ロスと水問題のクイズPPT</li> </ul>
1分	<p>14. 「SDGsは途上国だけではなく、もちろん私たち先進国も課題があるわけなので、地球人みんなの課題です。」</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>①世界ではどのくらいの割合の人が食べ物に困っているでしょう？</li> <li>②世界では、どのくらいの国で水道水を飲むことが出来るでしょう？</li> </ul>
④:「食品ロスとは何か」 SDGsのひとつを考える。			
7分	<p>15. 「さて、ハシムさんの国の課題から SDGsを紹介しましたが、クイズにもあった食品ロスについてあなたの知っていることや考えを聞いてみたいと思います。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校・コンビニ・レストラン・スーパー・家</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品ロスとはどんなことか、どのような場所で食品ロスが起こっているのか考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート①</li> </ul> <p>【1時間目終了】</p>
3分	<p>16. 「ではなぜ食べ物が捨てられることになってしまうのでしょうか」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作りすぎ・賞味期限切れ・残す・・・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>のちの生産者として大量に作ることへの気づきになるよう</li> </ul>	<p>【2時間目開始】</p>

8分	<p>17. 「それでは、 “買うとき” の行動を振り返ってみましょう。みなさんがポテトを買うとします。5つの中でどれを選びますか？1位から5位まで理由を考えてランキングをつけましょう。」</p> <p>①標準②無農薬③形崩れ④古い半額⑤量少な目</p>	<p>・それぞれのグループの1位と2位を聞く</p>	
<b>⑤:「生産者としての行動に気づき、行動を考える」 自分たちは消費者でもあり、生産者でもあることから、廃棄作物の課題を考える。</b>			
5分	<p>18. 「では次に、 “みなさんがポテトを作るとき” は作物を捨てる事はありますか？あるならなぜ捨てるのでしょうか」</p> <p>(十勝食料自給率 1000%以上と廃棄の現実について補足する)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つくりすぎ・形が悪いと売れないと</li> <li>「実はみなさんは、生産者の立場でも、「捨てなければならない」という経験をしているわけです。SDGsの目標の何番にあたると思いますか？」 ⇒ 12番 「つくる責任・つかう責任」</li> </ul>	<p>・廃棄作物を前提にたずねるが、農業の廃棄作物が悪だというメッセージは与えないよう配慮する。</p>	
5分	<p>19. 形が悪いからに着目させて・・・</p> <p>「おうちでは、売れなかつた作物はどのようにしていますか」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家で消費・近所に配る・たい肥にする・捨てる</li> </ul>	<p>・グループで考えの交流をする</p>	
まとめ ( 24 分)	<p>20. 「さて、ここまでで、みなさんは今どんな感想を持っていますか。振り返ってみましょう。」</p>	<p>・一人ずつの感想を聞く時間とする。</p>	
15分 9分	<p>21. 「生産する立場のみなさんは “つくる責任” の課題に向けて” せっかく作った作物を廃棄を少なくするために、 どんな方法があるのか”について考えてみましょう。」</p> <p>(思考を広げるため次時にオーストラリアの社会活動や他国の取り組みを紹介するが、 ここでは①自分の家でできること②家以外の場所</p>		

でできることにわけて現時点での考えを共有する)  22. 次回の予告をして終了		
<p>9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法）</p> <p>SDGsの必要性、食品ロスの問題を通して自分たちが消費者であり生産者でもあることから、生産者として“つくる責任”の課題に向けてどのようなことができるのか考えている。</p> <p style="text-align: right;">(ワークシート・発言)</p>		
<p>10. 学習方法および外部との連携</p> <p>チャドのハシムさんと無人島をテーマに考えるアクティビティでは、元JICA研修員に教材協力を依頼し、回答をビデオで撮影したものを使用。意図は、今回のSDGsの必要性が自分たちの遠い世界で起こっていることにならないよう、ビデオではあるが同じテーマで話をしてくれた一人として、彼の考えにも級友と同じく共感させたいと思ったからである。</p>		
<p>11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み</p> <p>小中連携（総合的な学習の時間）カリキュラムの横断的な編成</p>		

## 【自己評価】

12. 苦労した点	<p>・本時の③「活動のまとめ」をハシムさんの無人島の回答から生徒とのやりとりにおいて比較しながら行う際には、少人数なので多様な意見ができるか心配したが、児童はビデオから語りかけられる回答と自分たちの考え方（価値観）の違いを受け止めながら、結果的にチャドの課題への共感につながった。</p> <p>・自分の畑からでる廃棄を少なくすること以外に、廃棄を少なくするための方法の提示をALTにしてもらったこと。ALTにこの授業の趣旨を伝え、共通理解してもらう必要がありそのための時間が必要だったこと。ALTを登場させた意図は、SDGsはどの国の人も理解していることとして伝えたかったからである。ALTとの話でわかったことは、オーストラリアも行政レベルでの取組みが日本と同様であること（循環型農業）。そこで個人レベルのコンポストやボランティア団体のレベルでの取組みと、韓国の家庭ごみ削減の取組みを紹介したが、児童は家業としての廃棄問題はどの国もあるということを知り、より廃棄削減への意識が向上した。</p>
13. 改善点	<p>参観していただいた大津先生からのコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無人島をテーマにしたビデオに登場する人物が大人ではなく、同年代の子どもだともっとよかったです。</li> <li>・教具：必要なものとあつたらいいものを考える用紙はもっと大きく視覚化しやすいものであるほうがよい。</li> <li>・板書の良さを生かす：キーワードや大事な質問と答えを板書に残すことも有効。</li> </ul>

14. 成果が出た点	<p>・「給食の食べ残しやコンビニなどの賞味期限切れ廃棄」といった“食品ロス”的捉え方と、自分たちが生産者として“廃棄作物”をする捉え方の両方を明確に分けて考えられるようになった。そのことで生産者としての“つくる責任”を強く意識し、新たな視点で作物を生産する自分たちの家業について考えられるようになった。</p> <p>・英語の言語活動「環境に優しいメニュー」を考える際に、食材選びの基準が自給率UPや廃棄削減を意識し、“ものの見方・考え方”に深まりのある”発表”になった。</p>
15. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)	<p>「更に作物廃棄をなくす新たな取組を考えたい」・「食品ロスにつなげる行動に自ら協力する」・「地球環境に優しい廃棄をなくす方法を見つけたい」・「小学校で一番心に残る授業」・・・などの前向きな感想が多かった。</p>  <div data-bbox="1079 1257 1365 1538" style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p><b>英語の言語活動の発表</b>      内容に地産地消や廃棄削減・自給率UPなどの考え方を付加した成果物と、単元末の振り返りシートへの感想</p> </div>
・授業者による自由記述	<p>今年度より小中連携として、中学校英語教師ではあるが隣の小学校5・6年生の外国語科を担当することとなった。小5から中3までの5年間の英語のカリキュラム作成と同時に、総合的な学習の小中連携（地域の農業をテーマに）を視野に入れて今回の授業実践に取り組んだ。実践後は教科横断的な学習はもちろんのこと、小学校の総合的な学習の時間“農業”から引き継ぎ、中学校1学年の総合的な学習の内容を“地域の持続可能な農業経営”をテーマに年間計画を作成することができた。来年度も引き続き、「持続可能な社会の創り手」の育成を念頭に、授業実践を行っていきたい。</p>

参考資料：

- ・ minorasu (食品ロスの海外の取組み) <https://minorasu.bASF.co.jp/80272>
- ・ OZ Harvest Market <https://www.ozharvest.org/ozharvest-market-waterloo/>
- ・ 韓国の家庭内ごみ累計カード <http://www.mottainai.info/jp/posts/wakuwaku/001950.html>

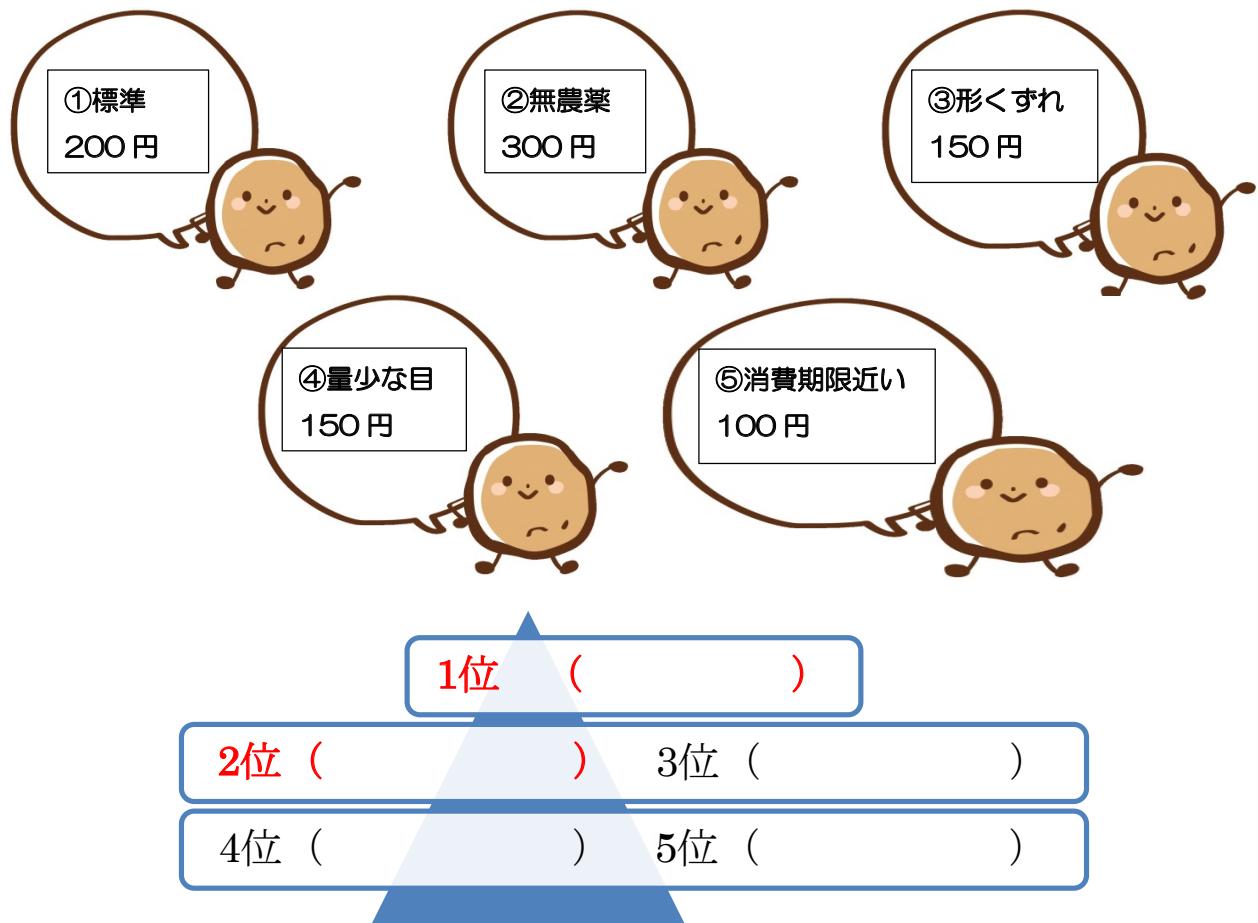
# かう人・つくる人 Unit6

## 食品ロスについて

①食品ロスは、どんな場所で起こっていると思いますか。

### 【買う人として】

②みんなが Potato を買うときの基準は？ 買う基準5つを1位～5位でランキングして理由を考えよう。



### 【作る人として】

③“みんなが potato を作るとき”は作物を捨てることがありますか。

Yes or No

★あるならなぜ捨てるのでしょうか。



④おうちでは、売れなかった作物はどのようにしていますか。

SDGs

番

⑤ここまで学びから、みなさんは今どんな感想を持っていますか。振り返ってみましょう。

⑥せっかく作った作物の廃棄を少なくするために、どんな方法があるのか考えてみましょう。

A: あなたのおうち（農場）では、どんなことができそうでしょうか？



A large, empty rectangular box with a dark blue border, positioned above a dark blue line that slopes upwards from the bottom left.

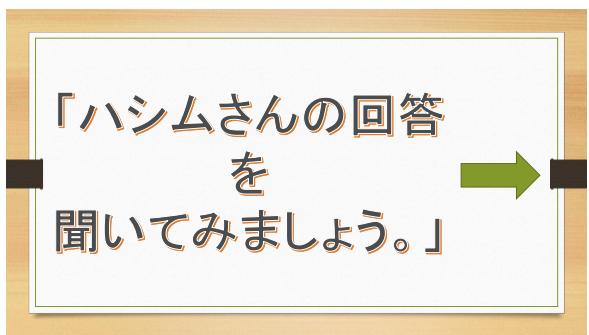
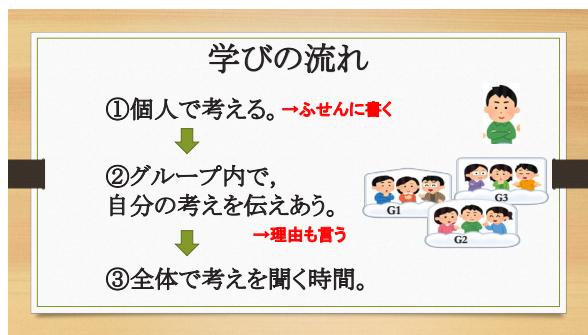
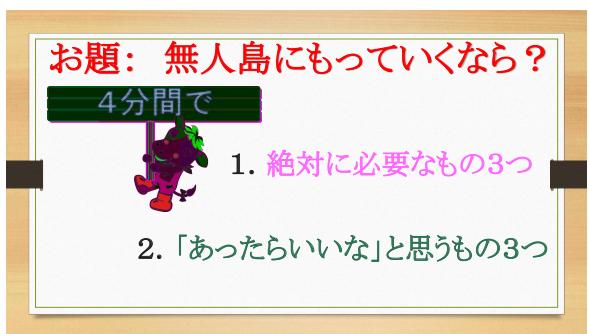
B: あなたのおうち（農場）以外では、どんなことができそうでしょうか？場所をひろげて考えてみましょう。



A large orange rounded rectangle with a thin orange border, positioned above a thick orange line that slopes upwards from the bottom left.

★来週はALTのLEE先生の母国Australiaでの廃棄作物に関する取り組みを聞いてみましょう！

Name \_\_\_\_\_





感じたことや  
疑問に思うことは  
何ですか？



必要なもの



きれいな水

薬

教育

あつたらいいもの



コーラン

友人・家族

ターバン

「無人島に行ったら、  
どの国の人だって生きていくために  
必要なものは同じなはずなのに、  
ハシムさんの住むチャドでは  
そもそも、水や薬や教育が  
十分ではない…」

→これらはチャドの国の課題

ハシムさんが「必要なこと」=チャドの課題

きれいな水 薬 教育

水問題 健康問題 教育問題

持続可能な開発目標(SDGs)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



チャドの課題＝SDGsの何番でしょう？

**水問題**    **健康問題**    **教育問題**



**6 番**    **3 番**    **4 番**



## 飢餓をゼロに

世界では食べ物に困っているがどれくらいの割合でいるでしょうか？

- ① : 9人に1人
- ② : 18人に1人
- ③ : 27人に1人



## 飢餓をゼロに

世界では食べ物に困っているがどれくらいの割合でいるでしょうか？

### ① : 9人に1人

日本で廃棄される食品：年間 600 万トン  
世界の食料援助量：年間 420 万トン  
国民一人当たり、毎日“お茶碗約1杯分の廃棄量”  
(農林水産省及び環境省より)



## 安全な水とトイレを世界に

世界では、水道水を飲むことが出来る国は何か国あるでしょうか？

- ① : 150カ国
- ② : 50カ国
- ③ : 15カ国



## 安全な水とトイレを世界に

世界では、水道水を飲むことが出来る国は何か国あるでしょうか？

### ③ : 15カ国

193か国（国連加盟国）のうち  
日本は水道水を飲むことができる国



私たちの日常生活も  
SDGsに関係している！

2030 年に向けた  
世界の目標

「持続可能な開発目標」です



学校教育で扱う  
製造量を減らせば  
エネルギー消費も減る



余分に作らない



魚への害を減らす

19

## 例: プラスチック問題